



木山小学校だより

そま ひと
杣人
<教育目標> やさしく かしく たくましく

第6号 令和7年8月27日

新潟市立木山小学校
〒950-2252 新潟市西区谷内1886番地
TEL. 025-239-2044 FAX. 025-239-3807

課題解決のプロセスを大切に

校長 寺田 武文



学校は、多様な子どもたちが生活を共にしながら、日々成長していく場です。様々な個性や考え方をもちた子どもたちが集まれば、当然のごとく様々な困りごとや課題が生まれます。当校では、2年前から児童会活動の中に、学校生活上の様々な問題について話し合い、自分たちで解決する場を設けています。この取組も今年で3年目になりました。

6月中旬に今年度2回目となる代表委員会を開催し、各学級が学校生活で困っていることをもち寄りました。代表委員会には、全ての学年の代表と委員長が集まり、総務委員会の子どもたちが中心となって、問題を整理し、解決策について話し合います。今回は、昼休みのボールの使い方や体育館の割り当て、玄関前の荷物の置き方、あいさつなどについて問題提起がありました。

その後、7月上旬に児童朝会を行いました。総務委員会の子どもたちが代表委員会で話し合われた内容をスライドにまとめて発表し、全体で共有しました。体育館の割り当てやボールの利用については、実態に合わせたルール変更を行い、ゆとりをもって片付けができるように委員会の児童が放送で呼び掛けることを確認しました。また水遣りのために玄関に荷物を置きたいときには、廊下の壁側に一列に並べておくことにしました。

児童朝会后、玄関前の様子を観察していると、ランドセルがきれいに並んで置かれるようになりました。また、昼休み終了の放送が入るようになってからは、以前よりも時間を意識して片付けや次の活動の準備に取り掛かれるようになってきました。

子どもたち自身が、問題の所在に気付き、どうしたら解決できるかを考え、それらを行動に移し、振り返るといったプロセスが大切です。また、このような学年の壁を越えた話し合いや実生活と結びついた活動は子どもたち同士のコミュニケーションを活性化し、主体性や社会性を育むメリットもあります。

9月後半からは、スマイルフェスティバルについての準備が始まります。高学年の子どもたちがリーダーシップを発揮して主体的に活動する姿を期待したいと思います。



解決策を話し合う子どもたち



児童朝会での説明



児童朝会後の玄関前の様子



木山小ブログ

日々、子どもたちの日常を情報発信しています。

URL : <https://blog.city-niigata.ed.jp/superkiyama/>

